

平成22年度 水道事業の概要

資料 3

主な業務状況

- ・ 給水人口は 283,509人で、前年度に比べ 1,466人減少（前年度比 0.5%の減）していますが、有収水量（料金を徴収した水量）は 32,038,677m³で、合併町村分が通年算入されたことから、前年度に比べ 488,731m³増加（前年度比 1.5%の増）しました。
- ・ 有収率（配水量のうち有収水量の割合）は 88.0%で、市町村合併の影響等により前年度に比べ 1.8ポイント減少しました。

項 目		平成22年度	平成21年度	増 減	対前年比
給水人口（人）		283,509	284,975	1,466	0.5%
普及率（%）		99.9	99.8	0.1	-
配水量（m ³ ）	A	36,393,674	35,121,027	1,272,647	3.6%
有収水量（m ³ ）	B	32,038,677	31,549,946	488,731	1.5%
有収率（%）	B / A	88.0	89.8	1.8	-

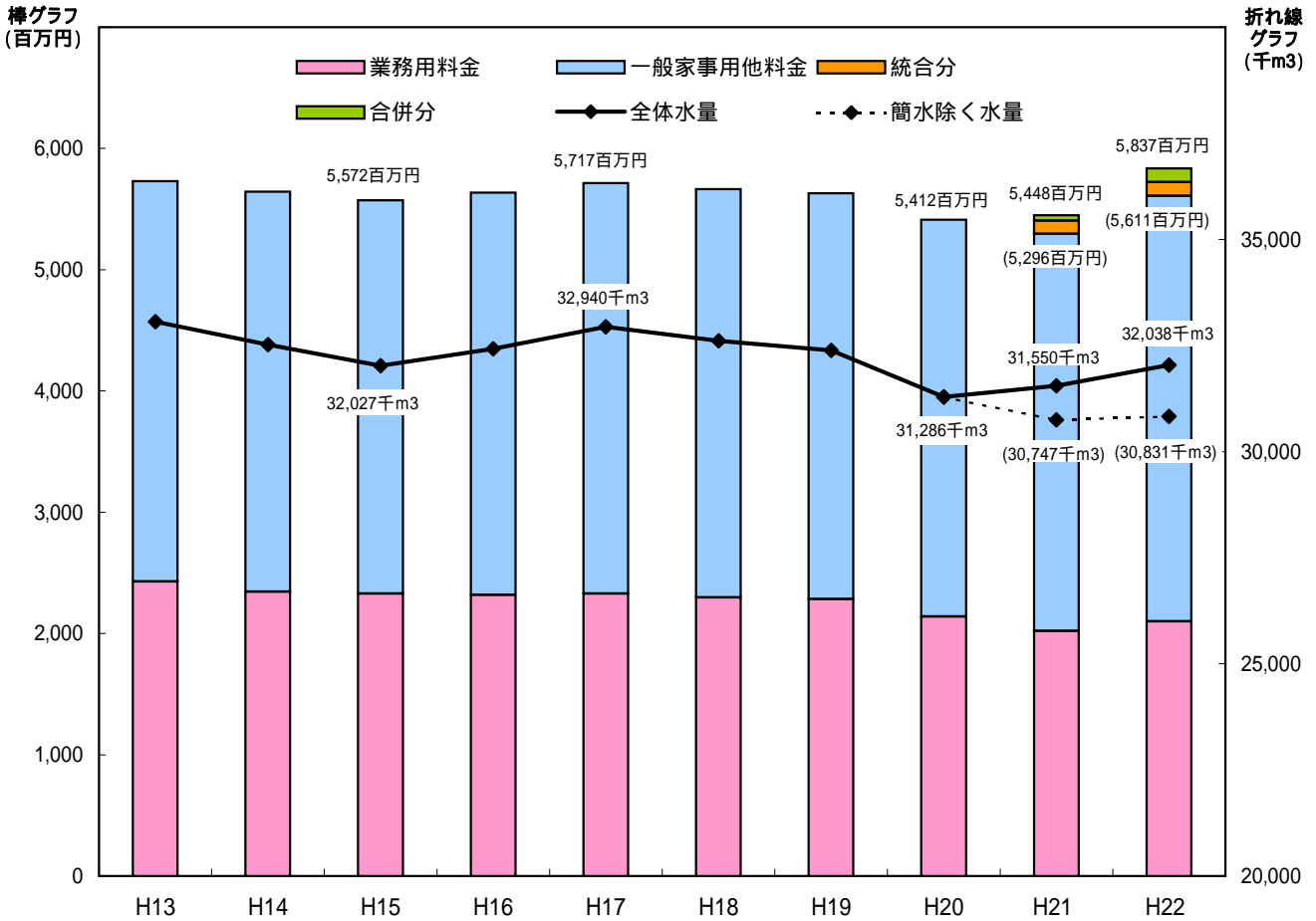
水道料金の推移

平成22年度の水道料金収入は、58億3,700万円で、前年度に比べ3億8,900万円増加した。

簡易水道分を除いた直近10か年の水道料金は、豊野町との合併に伴い増加した平成17年度の57億1,700万円をピークに年々減少傾向にあったが、平成22年度は、猛暑等の影響で使用水量が微増したことに加え、6月からの料金改定分が寄与し増加に転じた。また、簡易水道についても合併町村分が通年分集計されたことにより増加している。

この結果、平成22年度の水道事業会計の純利益は、6億1,800万円となった。

年度別 水道料金・水量推移



水道料金推移 (税抜き)

単位: 百万円

年度	水道事業						水量 (千m ³)	簡易水道事業			総合計	
	一般家事用他 (百万円)	対前年増減 (百万円)	業務用 (百万円)	対前年増減 (百万円)	合計(A) (百万円)	対前年増減 (百万円)		統合分(b1) (百万円)	合併分(b2) (百万円)	水量 (千m ³)	料金 (A)+(b1)+(b2) (百万円)	水量 (千m ³)
H13	3,300	33	2,430	155	5,730	188	33,062					
H14	3,300	0	2,344	86	5,644	86	32,520					
H15	3,244	56	2,328	16	5,572	72	32,027					
H16	3,318	74	2,318	10	5,636	64	32,419					
H17	3,389	71	2,328	10	5,717	81	32,940					
H18	3,369	20	2,297	31	5,666	51	32,609					
H19	3,344	25	2,285	12	5,629	37	32,384					
H20	3,271	73	2,141	144	5,412	217	31,286					
H21	3,274	3	2,022	119	5,296	116	30,747	108	44	803	5,448	31,550
H22	3,511	237	2,100	78	5,611	315	30,831	111	115	1,207	5,837	32,038

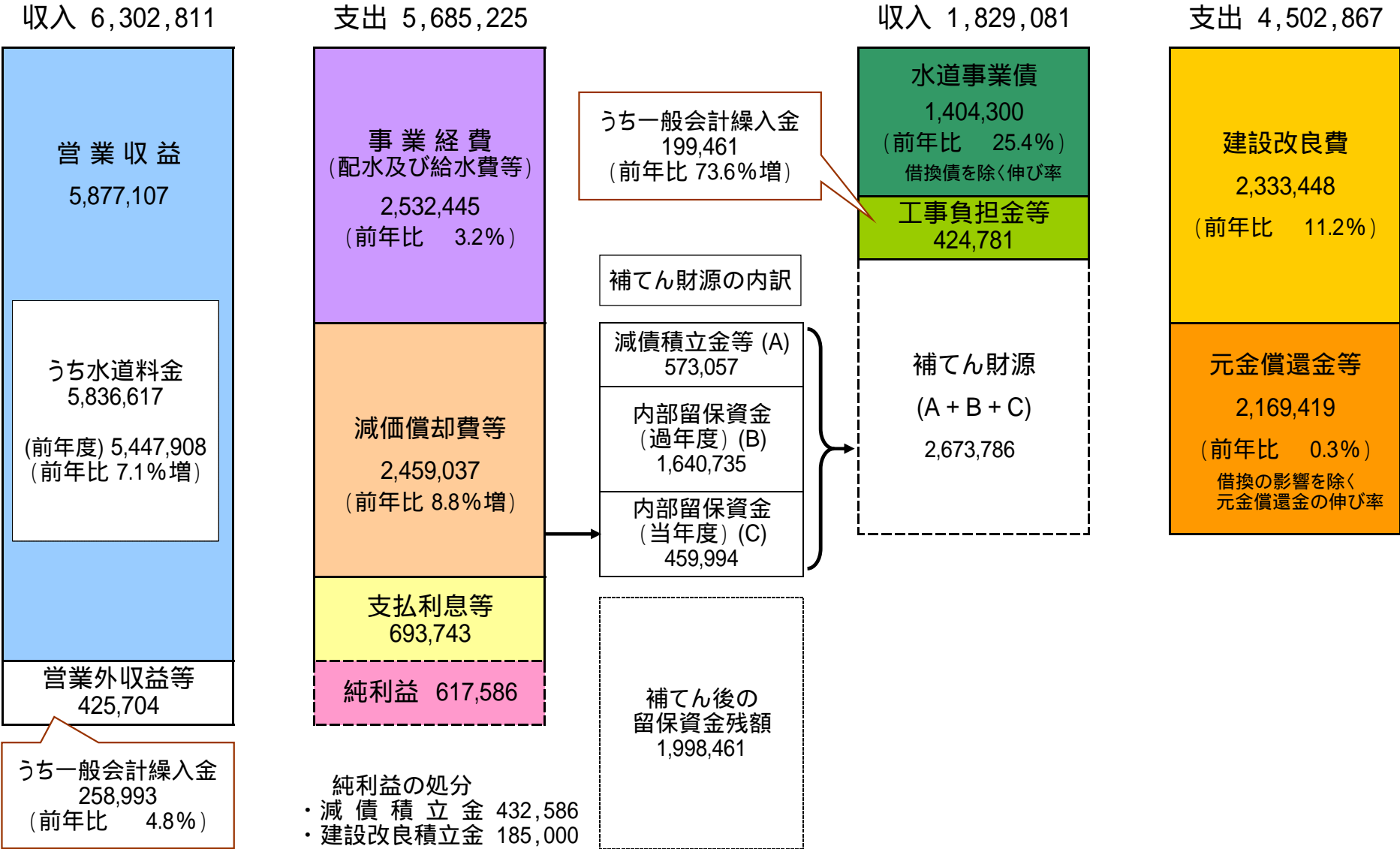
水道

平成22年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

収益的収入及び支出
(税抜き)

資本的収入及び支出
(税込み)



平成22年度 下水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 汚水処理人口（下水道に接続可能な人口）は 344,756人で、公共下水道の新規整備等により、前年度に比べ 600人増加（前年度比 0.2%の増）しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は 89.7%となり、前年度に比べ 0.3ポイント増加しました。
- ・ 水洗化人口は 319,789人で、前年度に比べ 12,346人増加（前年度比 4.0%の増）しており、これに伴い、有収汚水量（使用料を徴収した汚水量）は 36,182,885 m³で、前年度に比べ 1,363,266m³増加（前年度比 3.9%の増）しました。

項 目	平成22年度	平成21年度	増 減	対前年比
汚水処理人口(人)	344,756	344,156	600	0.2%
普及率(%)	89.7	89.4	0.3	-
水洗化人口(人)	319,789	307,443	12,346	4.0%
汚水処理量(m ³)	39,672,919	38,191,054	1,481,865	3.9%
有収汚水量(m ³)	36,182,885	34,819,619	1,363,266	3.9%

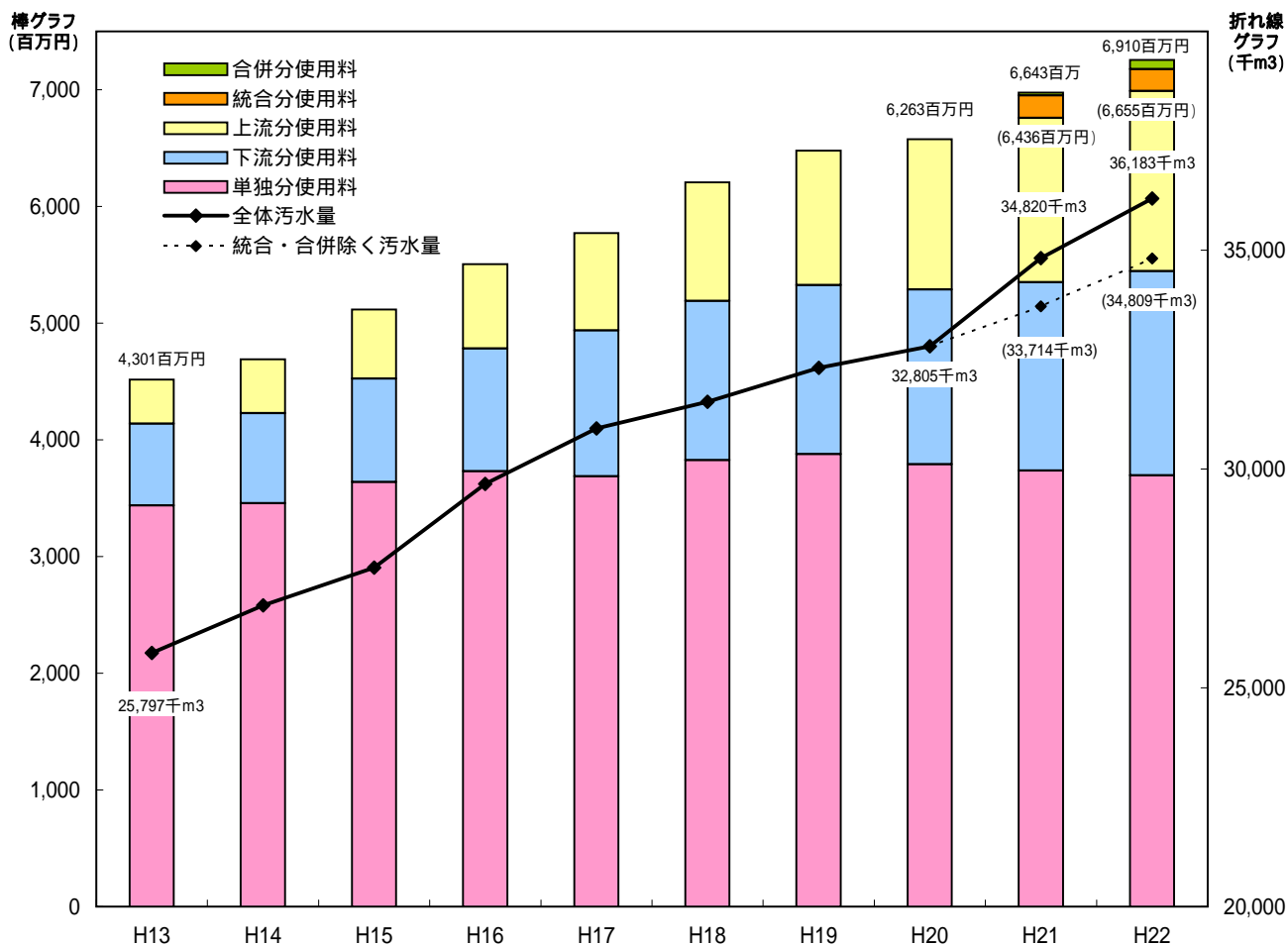
下水道使用料の推移

平成22年度の下水道使用料収入は、69億1,000万円で、前年度に比べ2億6,700万円増加した。

公共下水道の単独分は前年度に引き続き微減となっているが、流域下水道の上流・下流分は加入件数が増加したため、また、合併町村分は通年分が集計されたため、ともに増収となっている。

この結果、平成22年度の下水道事業会計の純利益は、36万円となった。

年度別 下水道使用料・汚水排除量推移



下水道使用料推移 (税抜き)

単位: 百万円

年度	単独 (百万円)	下流 (百万円)	上流 (百万円)	合計(A) (百万円)	対前年増減 (百万円)	汚水量 (千m3)	統合分(b1) (百万円)	合併分(b2) (百万円)	汚水量 (千m3)	使用料総合計 (A)+(b1)+(b2) (百万円)
H13	3,273	668	360	4,301	248	25,797				
H14	3,293	735	440	4,468	167	26,883				
H15	3,465	844	563	4,872	404	27,744				
H16	3,554	1,001	689	5,244	372	29,662				
H17	3,512	1,190	796	5,498	254	30,925				
H18	3,643	1,300	969	5,912	414	31,535				
H19	3,693	1,380	1,097	6,170	258	32,313				
H20	3,611	1,426	1,226	6,263	93	32,805				
H21	3,559	1,537	1,340	6,436	173	33,714	185	22	1,106	6,643
H22	3,519	1,667	1,469	6,655	219	34,809	181	74	1,374	6,910

特定環境長野分については、各処理区に加算

は、使用料改定年度

収益的収入及び支出
(税抜き)

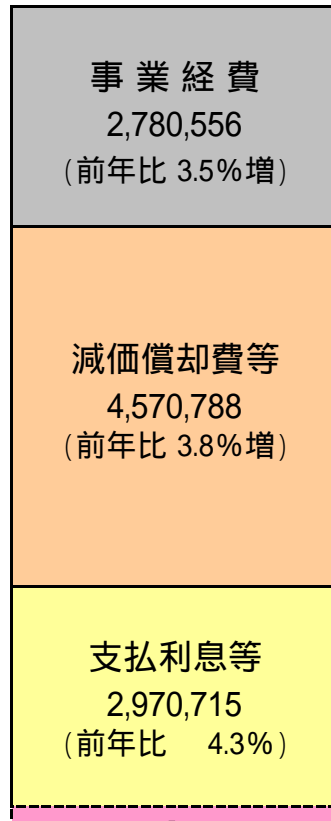
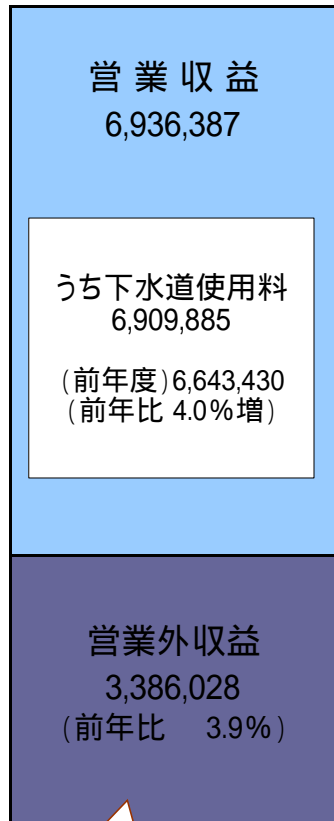
資本的収入及び支出
(税込み)

収入 10,322,415

支出 10,322,059

収入 8,740,454

支出 12,546,336



うち一般会計繰入金 3,057,300 (前年比 6.9%)

純利益 356

純利益の処分
・減価積立金 356

